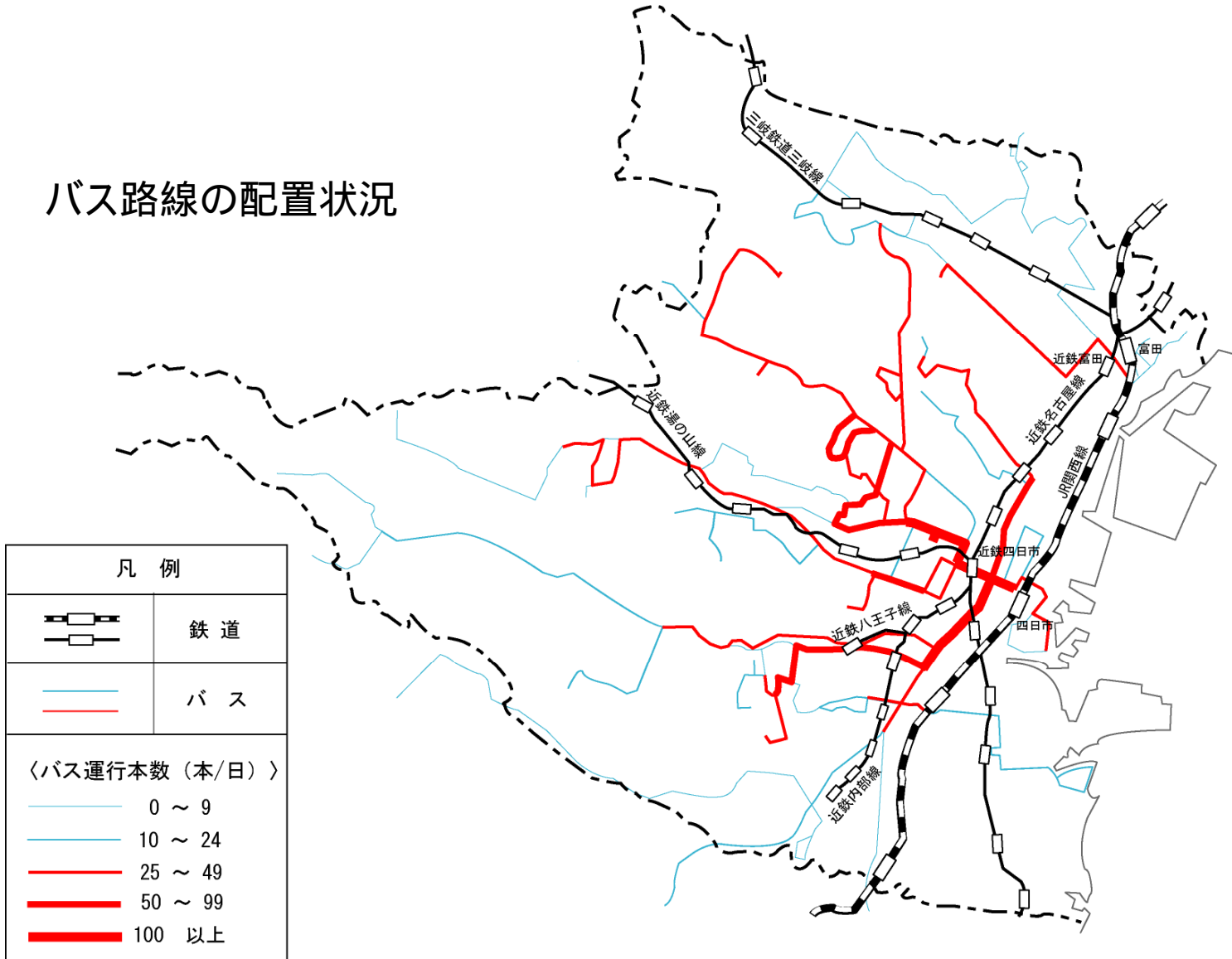


## 16.現在の公共交通ネットワーク

市内の移動を支える鉄道路線とそれを補う基幹的なバス路線。

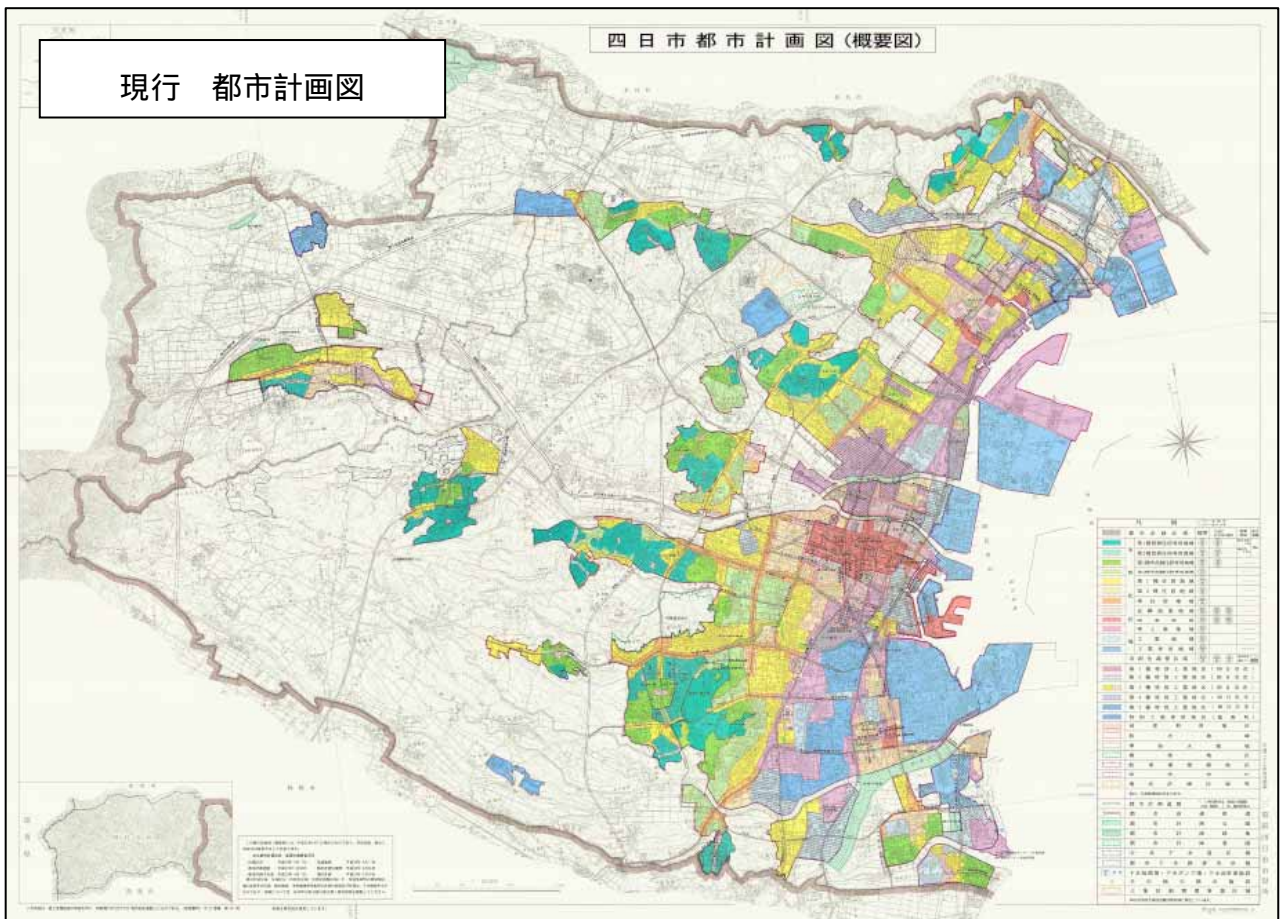
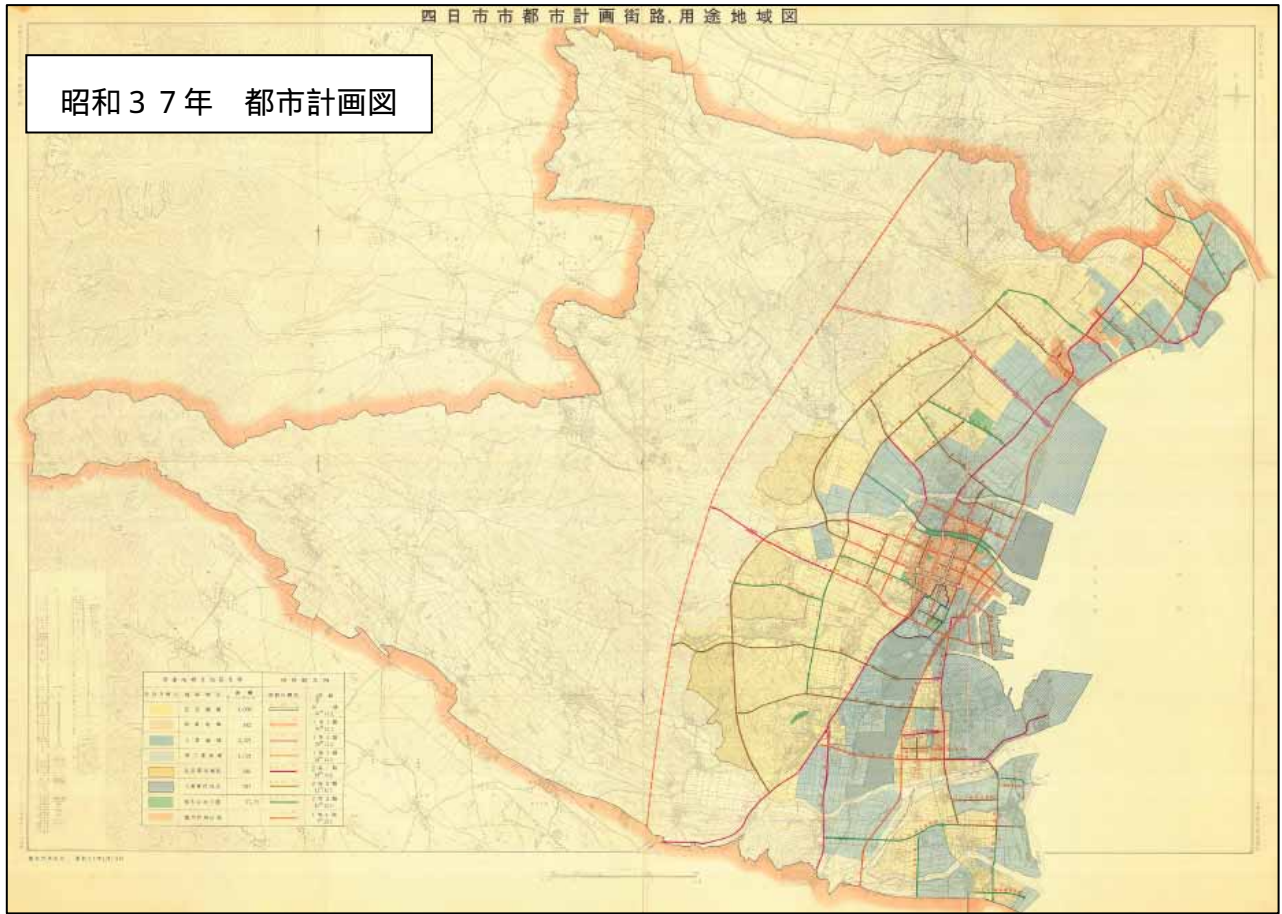
### バス路線の配置状況



注) 片側本数を記述

(出典：市資料より作成 平成 22 年 3 月時点)

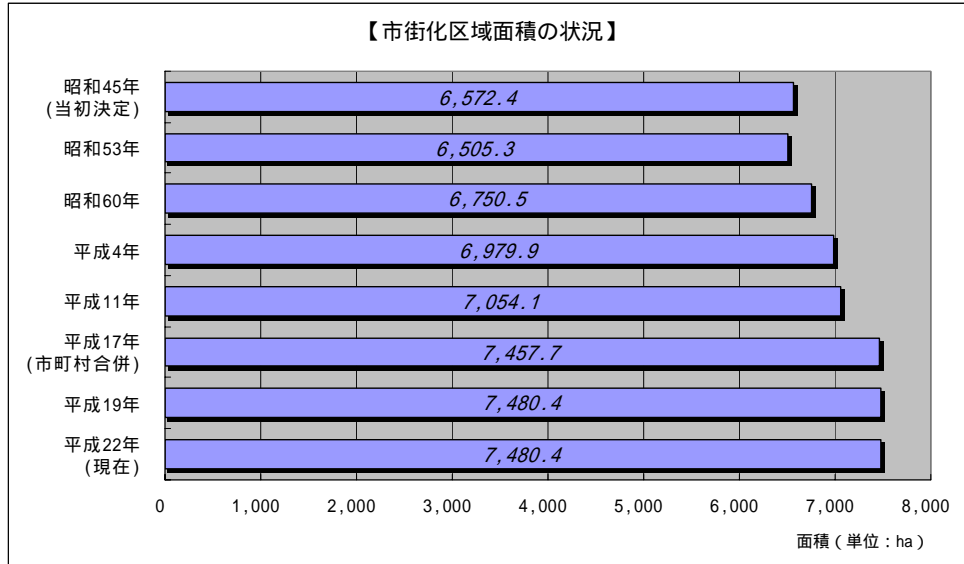
# 17. 四日市都市計画の変遷



## 18. 市街化区域面積の状況

本市における市街化区域面積については、昭和45年の当初線引き（市街化区域と市街化調整区域の区分）時では、6572.4ヘクタールであったが、その後、臨海部の埋立て等による市街化区域の拡大に伴い、平成22年時点で7480.4ヘクタールに増加している。

### 定期見直し時点の市街化区域面積



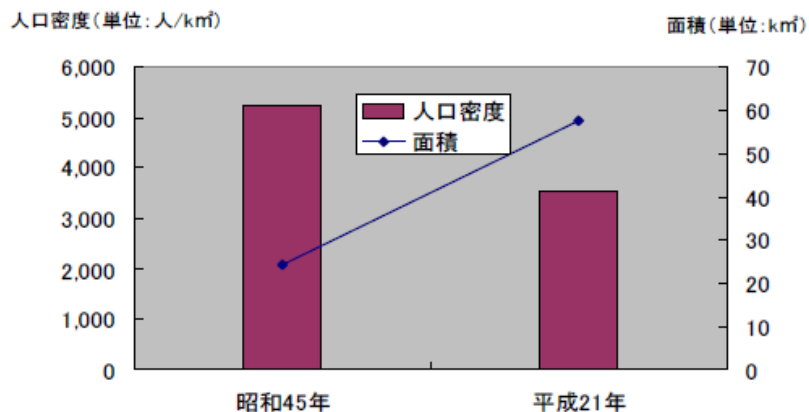
(出典: 市資料より作成)

### 市街化区域面積と人口及び人口密度

区 域	面積 (ha)	人口(人)	人口密度 (人/ha)
市街化区域面積	7,480.4	269,509	36.0
上記から工専、無指定を除く	6,224.9		43.3
上記から臨港地区(工専以外 = 252.4ha)を除く	5,972.5		45.1

(出典: 都市計画現況調査)

### DID 地区の面積と人口密度



※DID地区

昭和35年国勢調査から新たに新設されたもので、人口密度の高い基本単位地区(原則として人口密度が1km<sup>2</sup>あたり4,000人以上)が連たんしている地区

(出典: 市資料より作成)

## 19. 住宅団地の開発状況

市内にある住宅団地のうち、高齢化率の高い住宅団地は、高花平団地、あさけが丘団地、坂部が丘団地などで、事業完了後30年以上経過した団地となっている。  
 一方、事業完了から30年未満の桜花台団地、イトーピア波木団地、高見台団地などでは、生産人口比率が高く、別山団地、緑丘町、坂部台団地などでは、若年人口比率が高い。

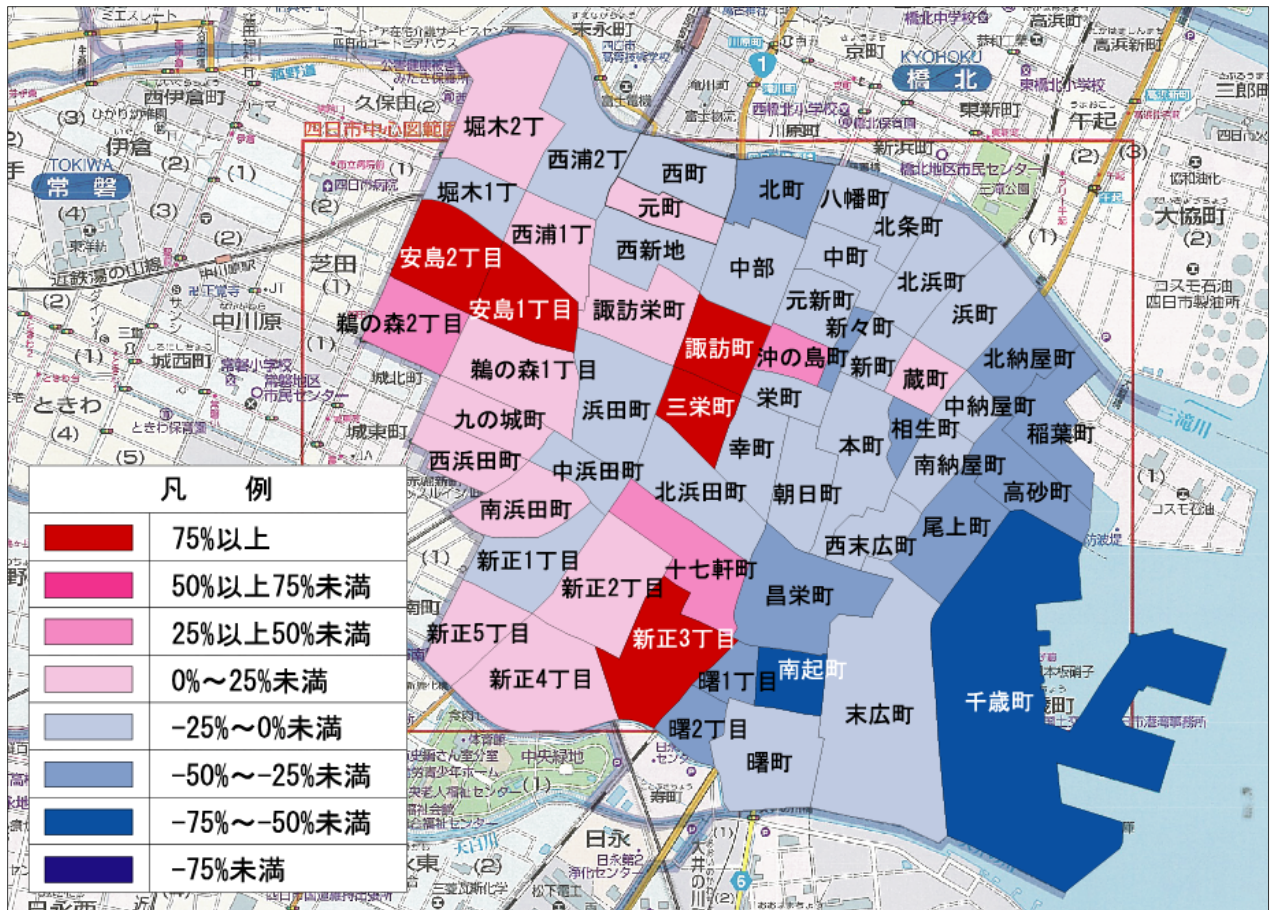
No.	団地名称	着工年	面積	計 画		現 在	入居率 (%)	年代別人口比率(%)			施行完了
				戸数 (戸)	人口 (人)	人口 (人)		65歳以上	15歳～64歳	0歳～14歳	
1	高花平団地	S35	32.6ha	-	5,500	2,648	48.1	33.4	54.2	12.4	S39
2	笹川団地	S38	166.5ha	-	18,000	12,236	68.0	19.1	67.1	13.8	S43
3	あさけが丘団地	S40	21.0ha	860	3,500	1,952	55.8	32.9	55.2	11.8	S42
4	平津団地	S43	19.4ha	350	1,500	1,646	109.7	22.8	65.6	11.6	S45
5	坂部が丘団地	S43	20.0ha	1,130	4,300	2,465	57.3	31.8	57.1	11.1	S44
6	八千代台団地	S41	23.7ha	-	2,330	1,393	59.8	25.9	62.3	11.8	S50
7	北永台団地	S45	12.0ha	-	628	776	123.6	19.5	64.6	16.0	S46
8	大沢台団地	S45	7.5ha	-	645	512	79.4	21.5	70.1	8.4	S46
9	みゆきヶ丘	S36	8.6ha	-	988	1,013	102.5	30.8	58.7	10.5	S37
10	生桑台団地	S44	7.5ha	-	722	827	114.5	23.5	65.2	11.4	S45
11	ときわ台団地	S42	6ha	-	-	831	-	22.5	61.4	16.1	S43
12	桜台団地	S42	69.0ha	2,050	8,200	4,916	60.0	21.1	67.2	11.8	S49
13	松ヶ丘団地	S46	13.2ha	330	1,089	780	71.6	26.9	60.1	12.9	S48
14	三重団地	S46	68.9ha	2,100	6,930	4,306	62.1	24.3	63.4	12.4	S50
15	大谷台団地	S46	8.8ha	260	858	1,171	136.5	23.1	63.0	13.9	S48
16	青葉台団地	S47	5.6ha	140	462	420	90.9	23.6	65.2	11.2	S49
17	近鉄三滝台団地	S47	44.2ha	850	2,805	2,336	83.3	23.1	65.1	11.8	S52
18	三交川島園	S49	20.4ha	570	1,881	1,275	67.8	15.0	69.4	15.6	S55
19	美里ヶ丘団地	S49	15.8ha	492	1,622	1,499	92.4	18.5	67.4	14.0	S52
20	県地区住宅団地(あがたハイツ)	S52	27.1ha	-	2,260	2,164	95.8	13.8	77.8	8.4	S55
21	イトーピア波木団地	S54	9.9ha	280	1,120	1,044	93.2	12.4	79.5	8.1	S57
22	保々団地(高見台)	S56	21.2ha	398	1,592	1,529	76.8	10.0	78.1	11.9	S59
23	NKF松本台団地	S56	27.3ha	738	2,952	1,335	45.2	14.9	69.9	15.2	S60
24	桜花台	S60	36.0ha	1,050	4,560	3,358	73.6	7.4	81.5	11.1	H元
25	あかつき台団地	S43	68.6ha	-	8,495	4,088	48.1	21.8	65.8	12.5	S57
26	坂部台	H6	15.1ha	347	1,388	1,027	74.0	2.2	62.3	35.4	H8年末
27	緑丘町(一部)	H18	5.9ha	-	-	118	-	0.8	63.6	35.6	-
28	別山団地	H5	26.3ha	656	2,296	1,853	80.7	3.5	60.4	36.0	-
29	伊坂台	S62	37.2ha	814	2,849	2,410	84.6	6.4	69.9	23.7	H9
30	まきの木台	H5	16.0ha	472	1,510	1,091	72.3	1.6	63.7	34.6	H13
31	波木南台	H4	27.2ha	677	2,200	1,879	85.4	3.0	64.4	32.6	H13
32	桜新町	S62	18.8ha	550	1,925	1,595	82.9	5.5	77.4	17.1	H4
33	采女が丘	S61	39.2ha	957	3,158	2,615	82.8	7.4	72.0	20.5	H6

(出典：四日市の町別人口【平成20年7月】)



## 20. 臨海部における人口増加率

本市臨海部の古くから市街地を形成している地域では、過疎化が進んでいる地域も見受けられる。



(出典：市資料より作成)  
中部地区の人口増加率（平成7年～平成20年）